

東浦町のごみ処理量とごみ処理費の見込みについて(平成28年度)

本町の東部知多クリーンセンターでのごみ処理量は、11,968.9トンで前年度に比べ、101.7トンの増加となる見込みです。これは、家庭系ごみの直接持ち込み量が32.1トン、事業活動に伴う事業系ごみが65.5トンそれぞれ増加したことによります。資源ごみ回収量は、2,460.6トンで前年度に比べ87.4トンの減少となる見込みです。紙布類が79.9トンと減少が多く、大幅な減少の原因としては、資源ごみの盗難が考えられます。また、一部は新聞店独自の回収ルートなどへの流出も想定されます。処理に要した費用及び収入は下図のとおりで、住民1人当りのごみ処理負担額は7,860円、世帯当りでは19,705円となり、前年度対比で1人当り908円、世帯当り2,102円の増加となる見込みです。これは、現在行っている東部知多衛生組合の新ごみ処理施設の建設が影響しており、東部知多衛生組合負担金は、対前年度比49,153千円の増額となる見込みです。

